



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月26日 東

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所  
 コード番号 8014 URL <http://www.chori.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀆 一夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営政策部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	206,442	12.9	3,859	△10.6	4,108	△9.9	2,622	△26.5
27年3月期第3四半期	182,919	0.6	4,316	12.0	4,560	9.4	3,569	32.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,311百万円(△45.5%) 27年3月期第3四半期 4,239百万円(△2.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	106.96	—
27年3月期第3四半期	145.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	98,058	42,935	43.7
27年3月期	84,289	41,473	49.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 42,864百万円 27年3月期 41,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	24.8	6,300	13.5	6,800	14.0	4,400	5.9	179.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	25,303,478株	27年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	787,133株	27年3月期	785,918株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	24,517,104株	27年3月期3Q	24,518,772株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績に支えられ景気は緩やかに回復基調にあるものの、個人消費は未だ力強さに欠ける状態が続いています。また、原油価格の下落進行と新興国経済の成長鈍化、特に中国経済の不安定さが世界経済に与える影響が懸念され、先行きの不透明さが急速に増してきました。

このような状況下、当社グループは、平成26年4月23日に発表した中期経営計画「躍進2016」の諸施策を推進しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比12.9%増の2,064億42百万円となりましたが、外貨建資産・負債の為替替損益が大幅に減少し、営業利益は、前年同期比10.6%減の38億59百万円、経常利益は、前年同期比9.9%減の41億8百万円、税金等調整前四半期純利益は、前年同期比2.6%減の41億67百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額の増加により前年同期比26.5%減の26億22百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 繊維事業

当セグメントにおきましては、製品分野が暖冬の影響等を受け伸び悩みましたが、海外を中心とした素材分野が堅調に推移し、売上高は前年同期比2.6%増の849億26百万円となり、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比24.2%増の22億37百万円となりました。

## ② 化学品事業

当セグメントにおきましては、ミヤコ化学株式会社を連結子会社としたことを中心に、売上高は前年同期比30.5%増の889億91百万円となりましたが、原油安及び資源安に伴う商材価格下落の影響等を受け、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比15.5%減の18億57百万円となりました。

## ③ 機械事業

当セグメントにおきましては、中南米向け車輛事業が堅調に推移し、売上高は前年同期比2.5%増の324億63百万円となりましたが、採算面は厳しく、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比92.1%減の22百万円となりました。

## ④ その他

当セグメントにおきましては、売上高は前年同期比79.9%減の61百万円となり、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は、11百万円(前年同期は51百万円のセグメント損失(税金等調整前四半期純損失))となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、980億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ137億68百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が65億21百万円増加、のれんが38億71百万円増加、商品及び製品が26億53百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、551億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億6百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が93億52百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、429億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億61百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により26億22百万円増加、配当金の支払により8億33百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の先行きは、景気は回復基調であるものの、世界経済は不安定な状況にあり、依然として不透明であります。当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況であることが予想されますが、平成27年4月23日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、ミヤコ化学株式会社の発行済株式の全てを取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ62百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,732	8,390
関係会社預け金	4,000	1,000
受取手形及び売掛金	43,897	50,419
商品及び製品	11,191	13,845
仕掛品	119	49
原材料及び貯蔵品	28	7
未着商品	490	310
繰延税金資産	260	223
その他	4,290	4,124
貸倒引当金	△117	△230
流動資産合計	71,894	78,139
固定資産		
有形固定資産	1,325	2,776
無形固定資産		
のれん	518	4,390
その他	205	239
無形固定資産合計	723	4,630
投資その他の資産	10,346	12,512
固定資産合計	12,395	19,918
資産合計	84,289	98,058
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,165	42,518
短期借入金	986	3,347
未払法人税等	148	961
賞与引当金	610	469
返品調整引当金	2	2
関係会社整理損失引当金	408	94
その他	5,341	4,112
流動負債合計	40,664	51,506
固定負債		
社債	20	15
長期借入金	22	821
繰延税金負債	37	650
退職給付に係る負債	2,018	2,048
その他	52	81
固定負債合計	2,151	3,616
負債合計	42,815	55,122

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	30,759	32,535
自己株式	△782	△784
株主資本合計	38,477	40,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,428	1,539
繰延ヘッジ損益	△67	25
為替換算調整勘定	1,624	1,098
退職給付に係る調整累計額	△58	△49
その他の包括利益累計額合計	2,926	2,613
非支配株主持分	70	70
純資産合計	41,473	42,935
負債純資産合計	84,289	98,058

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	182,919	206,442
売上原価	166,628	188,776
売上総利益	16,291	17,665
販売費及び一般管理費	11,974	13,805
営業利益	4,316	3,859
営業外収益		
受取利息	39	32
受取配当金	132	173
持分法による投資利益	90	113
負ののれん償却額	47	—
為替差益	31	—
債務勘定整理益	110	84
雑収入	128	172
営業外収益合計	580	575
営業外費用		
支払利息	36	41
手形売却損	158	147
売上割引	49	55
為替差損	—	4
雑支出	91	78
営業外費用合計	336	326
経常利益	4,560	4,108
特別利益		
関係会社株式売却益	198	48
投資有価証券売却益	33	15
固定資産売却益	2	2
負ののれん発生益	113	—
特別利益合計	347	66
特別損失		
固定資産処分損	32	4
投資有価証券評価損	—	2
投資有価証券売却損	0	0
関係会社整理損	370	—
東京本社移転費用	140	—
関係会社株式売却損	85	—
特別損失合計	629	7
税金等調整前四半期純利益	4,278	4,167
法人税、住民税及び事業税	1,501	1,468
法人税等調整額	△796	73
法人税等合計	704	1,541
四半期純利益	3,574	2,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,569	2,622



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,574	2,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	481	111
繰延ヘッジ損益	△31	93
為替換算調整勘定	257	△321
退職給付に係る調整額	90	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△132	△206
その他の包括利益合計	665	△315
四半期包括利益	4,239	2,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,233	2,309
非支配株主に係る四半期包括利益	6	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	82,762	68,181	31,668	182,612	307	182,919	—	182,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	303	303	△303	—
計	82,762	68,181	31,668	182,612	611	183,223	△303	182,919
セグメント利益又は 損失(△)	1,801	2,197	289	4,288	△51	4,236	41	4,278

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額41百万円は各報告セグメントで負担しているリスク等負担金の相殺額であります。

3. 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,926	88,991	32,463	206,380	61	206,442	—	206,442
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	303	303	△303	—
計	84,926	88,991	32,463	206,380	365	206,745	△303	206,442
セグメント利益	2,237	1,857	22	4,117	11	4,129	38	4,167

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額38百万円は各報告セグメントで負担しているリスク等負担金の相殺額であります。

3. 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、ミヤコ化学株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「化学品事業」のセグメント資産が15,077百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間から、経営資源の配分の決定及び業績をよりの確に管理、把握することを目的に、各セグメントが保有しているリスク資産に対して社内計算上、所定の負担金を賦課することに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間に係る「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の方法により記載しております。